

平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社マルキョウ

コード番号 9866 URL <http://www.marukyo-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 富松 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 総務部部長

(氏名) 安岡 洋一

TEL 092-501-5221

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	63,132	0.1	2,041	49.3	2,210	43.1	1,499	1.2
26年9月期第3四半期	63,068	△0.4	1,367	44.5	1,544	39.0	1,480	124.1

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 1,593百万円 (7.7%) 26年9月期第3四半期 1,480百万円 (81.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	97.26	—
26年9月期第3四半期	96.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第3四半期	51,786	42,216	81.5	2,739.77
26年9月期	49,850	40,906	82.1	2,653.66

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 42,216百万円 26年9月期 40,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	7.75	—	9.75	17.50
27年9月期	—	7.75	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	7.75	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 26年9月期期末配当金の内訳 普通配当 7円75銭 記念配当 2円00銭

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,250	△0.1	2,625	34.3	2,850	30.4	1,700	△7.7	110.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成27年7月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期3Q	15,675,000 株	26年9月期	15,675,000 株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	266,147 株	26年9月期	259,897 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期3Q	15,411,843 株	26年9月期3Q	15,419,018 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	8
販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の下振れが景気を下押しするリスクを抱えるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな景気の回復基調が続きました。

食品スーパー業界におきましては、地域の品質の良い生鮮食品を強化するスーパーが業績を伸ばすなど、食品の地域密着化が進展しております。

このような状況の中で当社グループは、既存店の改装を10ヵ店（黒髪店、曾根店、宗像店、有家店、柏原店、愛野店、合志店、ニュー前原店、神野店、春日店）で行い、活性化を図るとともに非効率店舗3ヵ店（柳橋店、本庄店、寒田店）を閉店するなど経営資源の効率化に努めてまいりました。

以上により、売上高については、店舗改装効果もあり増収となり、利益面におきましても生鮮食品が好調に推移したことなどから原価率が改善し増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は631億32百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業収入は2億24百万円（同1.1%増）、営業利益は20億41百万円（同49.3%増）、経常利益は22億10百万円（同43.1%増）、四半期純利益は14億99百万円（同1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は143億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億57百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が24億53百万円増加したことによるものであります。

固定資産は374億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億21百万円減少いたしました。この主な減少要因は有形固定資産が設備投資額よりも減価償却費、減損損失及び除売却による減少額が上回ったことで6億29百万円減少したことであり、主な増加要因は投資有価証券が時価の上昇により1億12百万円増加したことでありま

す。

この結果、総資産は517億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億36百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は79億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億50百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が3億56百万円、買掛金が2億56百万円増加したことによるものであります。

固定負債は16億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して24百万円減少いたしました。この主な減少要因は役員退職慰労引当金が42百万円、預り敷金が19百万円減少したことであり、主な増加要因は退職給付に係る負債が41百万円増加したことあります。

この結果、負債合計は95億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億25百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は422億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億10百万円増加いたしました。この主な増加要因は四半期純利益14億99百万円であり、主な減少要因は剰余金の配当2億69百万円であります。

この結果、自己資本比率は81.5%（前連結会計年度末は82.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、計画を上回る水準で推移していることから業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成27年7月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が14,142千円増加し、利益剰余金が9,135千円減少しております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,008,069	10,461,679
売掛金	10,678	9,642
商品	3,170,310	3,173,546
繰延税金資産	120,833	166,109
その他	603,793	560,008
流動資産合計	11,913,684	14,370,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,795,992	9,667,168
土地	24,167,283	23,107,373
その他（純額）	821,947	1,381,193
有形固定資産合計	34,785,222	34,155,735
無形固定資産	90,307	94,900
投資その他の資産		
投資有価証券	715,960	828,124
繰延税金資産	948,713	1,006,179
その他	1,396,919	1,330,959
投資その他の資産合計	3,061,593	3,165,263
固定資産合計	37,937,123	37,415,900
資産合計	49,850,808	51,786,887
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,259,160	5,515,658
未払法人税等	102,469	459,185
賞与引当金	181,702	281,126
その他	1,722,851	1,660,267
流動負債合計	7,266,183	7,916,238
固定負債		
役員退職慰労引当金	147,125	105,100
退職給付に係る負債	1,097,068	1,138,902
資産除去債務	305,921	301,690
預り敷金	128,114	108,274
固定負債合計	1,678,229	1,653,967
負債合計	8,944,413	9,570,206

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,996,200	5,996,200
資本剰余金	6,599,931	6,599,931
利益剰余金	28,337,513	29,557,657
自己株式	△133,112	△137,896
株主資本合計	40,800,532	42,015,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,368	207,367
退職給付に係る調整累計額	△5,506	△6,578
その他の包括利益累計額合計	105,861	200,788
純資産合計	40,906,394	42,216,681
負債純資産合計	49,850,808	51,786,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	63,068,229	63,132,125
売上原価	49,552,636	48,879,411
売上総利益	13,515,593	14,252,714
営業収入	222,576	224,995
営業総利益	13,738,170	14,477,709
販売費及び一般管理費	12,370,296	12,436,021
営業利益	1,367,873	2,041,687
営業外収益		
受取利息	2,871	3,906
受取配当金	22,017	18,484
受取手数料	74,223	72,664
その他	80,627	76,523
営業外収益合計	179,739	171,579
営業外費用		
支払利息	498	92
その他	2,450	2,904
営業外費用合計	2,949	2,996
経常利益	1,544,663	2,210,270
特別利益		
固定資産売却益	93,359	17,206
収用補償金	—	8,643
補助金収入	—	128,887
資産除去債務戻入益	—	4,593
特別利益合計	93,359	159,330
特別損失		
固定資産除却損	19,131	41,061
固定資産売却損	5,227	169,601
減損損失	79,014	164,152
特別損失合計	103,374	374,814
税金等調整前四半期純利益	1,534,648	1,994,785
法人税、住民税及び事業税	228,170	609,595
法人税等調整額	△174,289	△113,826
法人税等合計	53,880	495,768
少数株主損益調整前四半期純利益	1,480,768	1,499,017
四半期純利益	1,480,768	1,499,017

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,480,768	1,499,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△715	95,999
退職給付に係る調整額	—	△1,072
その他の包括利益合計	△715	94,926
四半期包括利益	1,480,053	1,593,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,480,053	1,593,944

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、報告セグメントが小売業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」には、テナント等への不動産賃貸業が含まれております。

4. 補足情報

販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別ごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類	売上高		営業収入		合計	
	金額(千円)	前年同期比(%)	金額(千円)	前年同期比(%)	金額(千円)	前年同期比(%)
菓子	7,117,525	1.2	—	—	7,117,525	1.2
食品	35,633,644	△1.5	—	—	35,633,644	△1.5
雑貨	2,665,239	0.2	—	—	2,665,239	0.2
鮮魚	6,026,378	4.6	—	—	6,026,378	4.6
青果	5,163,955	1.2	—	—	5,163,955	1.2
精肉	6,298,114	3.3	—	—	6,298,114	3.3
薬品	227,267	△2.9	—	—	227,267	△2.9
小売業計	63,132,125	0.1	—	—	63,132,125	0.1
その他の事業計	—	—	224,995	1.1	224,995	1.1
合計	63,132,125	0.1	224,995	1.1	63,357,120	0.1